

平成31年度

事業計画書

(平成31年4月1日から平成32年3月31日まで)

公益財団法人光市文化振興財団

光市文化センター事業計画

光市文化センターは、光市の特色を踏まえながら歴史、芸術、科学などの文化活動の普及発展に尽力してきた。平成31年度も教育や文化の充実発展に寄与するとともに、「文化の創造は市民自らの手で」の趣旨のもと、引き続き地域文化の継承発展に地道な努力を続けていく。

文化活動の拠点として、造形活動の推進、歴史・民俗資料の調査・保存・啓発、自然科学分野の啓蒙等を行うとともに、下記の事業を実施し、地域に根ざした運営を目指す。

企画展では、第13回目となる「光市作家展」を実施し、市内の作家の紹介に努める。さらに今年度は、日本画家巖島虹石の生誕150年にあたるため、作品展を開催する。

第15回目となる「光市美術展」では、広報活動を強化し、より多くの作品の募集に努める。また、市民参加の「わが家所蔵の美術品展」も引き続き実施する。

教育普及活動では、歴史講座として「成人大学講座」、夏休みに小学校4～6年生の児童を対象に「夏休み子ども陶芸教室」を引き続き開催する。

さらに、郷土の歴史と文化財等に触れてもらうために、「ひかり歴史探検クイズラリー」を新たに実施する。

事業の成果をあげるため、企画展、貸館展覧会はもとより、所蔵する美術資料を公開する常設展などの広報活動を工夫し、情報発信に努める。

1 常設展示

(1) 美術展示室

企画展や貸館の合間にテーマを設定し展示を行い、できる限り多くの館蔵美術品を市民に公開する。特に、近年寄贈されたものや未公開作品を中心に展示を行う。

(2) 歴史民俗展示室・自然史展示室

基本的には通史展示を踏襲するが、学校教育のカリキュラムに即した展示となるよう、民俗資料の選定、更新を行う。

2 企画展示

(1) 第38回滯美展 会期 4月5日(金)～4月14日(日)

毎週木曜日に実施している絵画教室の作品展で、1年間の学習成果を発表する。

- (2) 光市作家展 会期 6月15日(土)～6月30日(日)
作家として光市に深く関わりを持って活躍されている人の作品展を開催し、より多くの市民や美術愛好家にその作家の姿を知ってもらおう。作品や人柄を通して、多くの人に影響を与えている作家の紹介は、造形活動を広めることになる。
今年度は、『ちぎり絵』の指導者で全国展でも活躍している「印藤佳枝」氏と、日展入選作家で市美展の招待作家である陶芸の「竹重秀治」氏を紹介する。
- (3) 生誕150年 巖島虹石展 会期 8月10日(土)～9月8日(日)
今年度は、光市三大作家の一人である日本画家の巖島虹石(1869－1903)の生誕150年にあたるため、文化センターが長年収集した作品と所蔵家の出品協力を得て展覧会を開催する。作品鑑賞により郷土作家への理解を深め、貴重な作品が将来にわたって大切に継承されることを期待する。
- (4) 第15回光市美術展 会期 10月22日(火)～11月3日(日)
市民参加の公募展として、光市をはじめ光市教育委員会、光文化協会、当財団が一体となり実施する。会期は、部門別に前期、後期に分けて実施する。
平成29年度から、大賞受賞作家の更なる活躍と創作の支援を目的に、大賞受賞作を買上げ、常設で公開し顕彰する。
- (5) 文化センター水彩画教室展 会期 12月
隔週日曜日に実施している水彩画教室の作品展で、一年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。
- (6) わが家所蔵の美術品展 会期 3月
家庭にある愛蔵・秘蔵品を持ち寄り、個人コレクションを広く市民に鑑賞してもらうことにより、作品を大切に作る心を養い後世まで伝える。絵画・彫刻・陶磁器・書など幅広い作品を鑑賞してもらう機会を設ける。

3 教育普及活動

(1) 成人大学講座

郷土山口県、光市に関わりのある人物、歴史に関する内容を中心に、教養講座を開催する。定員45人とし、年間7講座で、受講料は年間1,500円とする。

本年度から当財団の経費で実施する。

講義内容	講 師	開 催 日
武家諸法度と 福島氏の改易	広島城 学芸員 岡野 孝子	5月25日(土)
俳人 田上菊舎 ～旅のはじめ・旅の終り～	梅光学院大学文学部 教授 倉本 昭	6月15日(土)
山口県の近代建築探訪 ～建築から町の歴史が 見えてくる～	(一財)山口県建築住宅セン ター 参事 原田 正彦	7月20日(土)
石造の狛犬	山口県埋蔵文化財センター 調査第一課長 岩崎 仁志	8月10日(土)
失われた六基の「毛利家銅 像」が語るもの	ライター・プランナー 網野 ゆかり	9月14日(土)
人骨から日本人のルーツと 未来をさぐる	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュー ジウム 館長 松下 孝幸	11月16日(土)
74年目の回想 光海軍工廠	光地方史研究会 副会長 上村 正	12月14日(土)

(2) 絵画教室

基礎的な知識、技術を身に付けた成人を対象に、デッサン、油彩画の実技指導により技量の向上を図る。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 河村純一郎先生(洋画家、行動美術協会会員、周南市在住)

開催日 毎週木曜日

(3) 水彩画教室

初心者を対象に絵画の基礎から指導し、絵画人口の底辺を拡大する。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 岡村 毅先生(創美会会員)

開催日 毎月第1、第3日曜日

(4) 彫塑教室

造形活動の中で、立体分野における発展を願って実施する。立体造形に関する基礎的な知識と、創造的スキルを修得してもらい普及していく。会員は20人を限度とし、

希望者は随時入会を受け付ける。

講師 末廣修實先生（彫塑作家）

開催日 毎月第2、第4土曜日

(5) 湯呑みづくりの会

陶芸による湯呑み作りや、茶道用具制作の基本技術の習得及び、現代的な陶芸作品作りを目指し、この会を自主的な同好会の一翼として発展させる。会員は、15人を限度として希望者は随時入会を受け付ける。

講師 村山嘉憲先生（陶芸作家）

開催日 毎月第1、第3水曜日

(6) 夏休み子ども陶芸教室

小学校4～6年の児童を対象に、「湯呑みづくりの会」の協力を得て、各自発達段階に見合った焼き物作りを体験させる。このことで、造形に対する興味・関心を高め併せて当館の活動に目を向けさせていく。

講師 湯呑みづくりの会

開催日 7月21日（日）、8月3日（土）

定員 30人 参加費 500円

(7) 小学生の社会科見学や中学生の職場体験への対応

各学校の教育活動に対応した資料収集および展示を行い、社会科見学のプログラムを充実させ、学校教育の現場との連携を図っていく。

(8) ひかり歴史探検クイズラリー

市民に郷土の歴史や文化に触れ、興味を持ってもらうため、希望者にマップとクイズ帳を配りクイズラリー形式で文化財、史跡、資料館（伊藤公、郷土館、文化センター）を巡ってもらう。約30箇所の中から25箇所以上を巡れば修了とする。

期間：7月20日から8月31日（夏休み期間中）

修了者：記念品を贈呈

4 絵画貸出事業

財団の情報誌『虹』や当館のホームページ、市広報等により、広報活動を積極的に行い利用者の拡大を図る。

5 資料収集活動

(1) 美術資料の収集

光市ゆかりの物故作家の作品を収集し、館蔵美術資料の充実を図る。

(2) 歴史・民俗資料の収集

6 資料の整理

(1) 長年に渡る資料収集活動からくる慢性的な収蔵場所の不足や、新たに収集する資料の収蔵場所を確保するため、民俗資料保存の基本ルールの作成や収蔵庫の保管棚の改修を検討する。

(2) 平成28年度から進めている清水家文書、難波家文書の解読作業を、郷土史家の協力を得て継続する。

7 市民の文化活動等への協力

(1) 文化活動の発表や学習の場を提供し、市民サービスに努める。

(2) 学校現場等へ館蔵資料を提供する。

光市民ホール事業計画

光市民ホールは、開館以来、市民文化活動、芸術文化・舞台芸術の中核・拠点施設、並びに市民の集会場として、光文化協会等の関係機関・団体との連携により、市民夏季大学をはじめ、音楽、演劇、伝統芸能などの各種文化関係事業及び貸館事業を実施してきた。

昨今の社会環境の変化により、市民ニーズは大きく変容しているが、開館から48年目となる公立文化施設としての市民ホールは、市民の自主的な芸術文化活動の拠点として、今後とも引き続き果たすべき役割は、大きいものがあると考えます。

このような状況から、多様化・高度化が進む市民のニーズに的確に対応し、市民文化の向上に向け、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため下記の事業を実施する。

1 自主文化事業

(1) 第48回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に広く定着している。近年の社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するために、各界で活躍している話題性が高く集客力のある著名人を講師として招く。

講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座、テーマ性のある生涯学習講座として開催する。

会 場 大ホール

テーマ 「今日まで、そして明日から」

○第1講座 池 田 清 彦（生物学者）

日時 7月10日（水）

演題 「がんばらない生き方 ～楽しく生きるのに準備はいらない～」

○第2講座 河 野 景 子（元フジテレビアナウンサー）

日時 7月18日（木）

演題 「晴れのち曇りときどき雨」

○第3講座 竹 田 恒 泰（作家）

日時 7月31日（水）

演題 「日本人はなぜ日本のことを知らないのか」

(2) その他自主文化事業

ア 第4回ストリートダンスフェスティバルin光

日時 4月7日(日)

会場 大ホール

内容 中学校保健体育でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高くなっている。そこで、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果を発表する機会を提供する。

ストリートダンスの普及・啓発とともに、青少年の音楽や表現活動の推進、舞台芸術活動の振興を図る。

イ スタインウェイピアノ開放事業

第12回 ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ!

日時 5月17日(金)・18日(土)

会場 大ホール

内容 初心者から高齢者まで幅広い層を対象に、音楽を愛しピアノに関心のある人が、世界で最も有名なピアノのひとつ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の場を提供する。

毎年参加者が多いため、今年度は2日間の開催とする。

ウ 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

日時 5月26日(日)

会場 大ホール

内容 今年度で4回目となるが、吹奏楽ファンの熱烈なリクエストに応え、高校吹奏楽部の国内最高峰ともいわれる精華女子高等学校吹奏楽部(福岡市)を招聘して、ハイレベルの吹奏楽コンサートを開催する。

エ 小学校音楽・演劇教室(学校引率) 演劇教室「東京地下鉄劇場公演」

日時 6月13日(木)

会場 大ホール

対象 市内小学校5・6年生

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

今年度は光市出身の室積光氏主宰の東京地下鉄劇場を招き、演劇を鑑賞する。

オ 北海道歌旅座公演 昭和の歌コンサート（会員招待公演）

日時 6月16日（日）

会場 大ホール

内容 光の文化を高める会の会員招待公演として、北海道歌旅座による昭和の歌コンサートを開催する。昭和の流行歌を独自にアレンジし、視覚効果も存分に生かしたヒットパレードショーは、全国でも大人気の演目である。

（会員以外は有料）

カ 清塚信也ピアノリサイタル

日時 9月1日（日）

会場 大ホール

内容 テレビドラマ「コウノドリ」のメインテーマを手掛け、また、俳優としても活躍するピアノ界の貴公子、清塚信也のコンサートを開催する。

数々の国際的なピアノコンクールを制覇した確かな実力と超絶技巧のピアノ演奏で観客を魅了する。

キ 古典芸能公演

日時 9月8日（日）

会場 小ホール

内容 落語、講談などの優れた古典芸能の鑑賞会を、市内の落語愛好グループ「光がんざき亭」との共催で開催する。

ク 第34回市民コンサート

日時 9月15日（日）

会場 大ホール

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会し、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供する。出演する児童・生徒については、今後の活躍と飛躍を期す機会とする。

ケ 第34回うたごえ喫茶

日時 11月24日（日）

会場 小ホール

内容 昭和時代から根強い人気のある「うたごえ喫茶」を開催する。生バンドの伴奏にあわせ、懐かしい名曲の数々を参加者が思う存分歌える場を提供する。

コ 末延麻裕子ヴァイオリンコンサート

日時 1月26日(日)

会場 大ホール

内容 光市(塩田)出身のヴァイオリニスト末延麻裕子のコンサートを開催する。昨年度に引き続き2度目のふるさと公演である。

サ 優秀映画鑑賞会

第5回光市民ホール名画劇場

時期 2月上旬

会場 小ホール

内容 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、廉価な入場料による映画鑑賞会を開催する。優れた日本映画を鑑賞するとともに、映画保存への理解を深めてもらうことを目的としている。

シ 第7回アラ還フェスティバルin光

日時 3月8日(日)

会場 大ホール

内容 市内及び周辺地域において、概ね還暦(60歳)前後の年齢層で構成する音楽愛好グループやミュージックバンドに演奏の場を提供する。

音楽・演奏活動を展開するグループ等を支援することにより、市民レベルの文化活動の振興、音楽活動の推進、市民文化の向上などを図る。

2 施設・設備の整備

来館者の安全を確保し、快適な施設環境を維持するため、定期的な機器等の更新に加えて、建築後48年が経過した施設・設備の経年劣化箇所についても、光市教育委員会と順次協議しながら改修・更新を行う。

3 市民文化意識の高揚と文化事業の広報

- (1) 財団友の会（通称：光の文化を高める会）の発足に伴い、会員の増加を図るとともに、会員に向けての広報活動の推進に努める。
- (2) 財団情報誌『虹』やホームページ及びフェイスブック等を活用し、各種自主文化事業の周知を図る。
- (3) 各報道機関への情報提供に努める。

4 貸館業務

指定管理者としての認識のもと、舞台芸術や市民文化活動の拠点施設として、地域に根ざした使いやすい施設の維持、管理に努める。

光ふるさと郷土館事業計画

光ふるさと郷土館は、港町室積の商家の建物を活かした伝統文化の継承とふるさとの歴史や文化の発掘、資料の収集や展示を行うとともに、地域の活性化を図るため、光市の観光や地域文化の創造・発表の場として特色ある運営をめざす。

1 常設展示

江戸時代以降、室積に寄港していた北前船に関する資料や醤油の醸造道具、商家の帳場などを通じて、当時の室積の役割など人々の生活や文化を紹介する。

2 ギャラリー展示

タイトル	出品者	会 期
手描友禅・木彫作品展	田村 輝子	4月12日(金) ～4月28日(日)
第3回夢をかたちに 「金属のレシピ展」	大川 紀(あつめ)	5月3日(金) ～5月19日(日)
つまみ細工展	阿部 郁子	6月1日(土) ～6月16日(日)
紙芝居原画展	末岡 美由紀	7月14日(日) ～7月27日(土)
ガラスとコラボ 書に集う仲間展	坪井 玲城 他	8月20日(火) ～9月6日(金)
書と野菜言葉展	雅宵(がしょう)	9月11日(水) ～9月23日(月)
室積秋まつり展	光市室積山車保存会	10月2日(水) ～10月14日(月)
勝岡れい子と仲間たち パッチワークキルト展	勝岡れい子 他	10月23日(水) ～11月3日(日)
松本英三新作木版画展	堀永 敦臣	11月9日(土) ～11月24日(日)

物語が生まれたまちに —お茶とお菓子イギリス編—	毛利 圭子	1 2 月で調整中
-----------------------------	-------	-----------

3 イベント等

- (1) 郷土館端午の節句 4月27日(土)～5月5日(日)
- (2) 普賢まつりの開館時間延長 5月14日(火)※19時まで開館延長
- (3) 五感で感じる郷土の夏 7月20日(土)～8月25日(日)
- (4) サメの歯展示(県漁業光支店所蔵) 7月20日(土)～8月25日(日)
- (5) 秋の夜長と邦楽の夕べ(邦楽虹の会) 9月21日(土) 19時～20時30分
- (6) 郷土館運営懇話会 10月29日(火) 15時～16時30分
- (7) 早長八幡宮秋まつりの開館時間延長 10月13日(日)※19時まで開館延長
- (8) Christmas 音楽会 in 醤油蔵2019 12月 8日(日) 14時～15時30分
- (9) 郷土館のひなまつり 2月 5日(水)～3月15日(日)

4 教育普及活動

(1) 古文書講座

毎月2回、光市関係の古文書を中心に解説講座を開催

(2) 小中学校の社会科見学や総合学習への対応

学校の教育活動に即応した資料の収集と、見学時の内容充実と説明

(3) 講座や教室の開催

ア 歴史講座

- (ア) 郷土史を中心とした教養講座 7月21日(日)
 - (イ) 古文書の会研究発表 11月10日(日)
- ##### イ 手作り教室
- (ア) 竹プランター作り 5月25日(土)
 - (イ) 古着で作るハガキ掛け① 6月16日(日)
 - (ウ) 古着で作るハガキ掛け② 6月22日(土)
 - (エ) 親子で作る竹細工 7月28日(日)
 - (オ) 親子で作る水鉄砲・竹とんぼ 8月 9日(金)～8月11日(日)
 - (カ) 竹で作る干支の親子 11月30日(土)
 - (キ) ミニ門松作り 12月22日(日)

5 その他

- (1) 休憩室などを利用したミニ展示
- (2) 地域観光の拠点施設としてマスコミや地域の関連団体との情報交換
- (3) ギャラリー展示利用者の発掘及び生涯学習の推進
- (4) 貸し部屋の利用促進